

地域で一体的に取り組むイノシシ・シカ等の被害対策

1 要旨

長門市三隅下豊原・平野地区では、以前はイノシシの被害が問題となり、侵入防止柵や箱わな設置等の対策を講じてきたが、近年、既設侵入防止柵の破損に加え、農地等へのシカの侵入が多発し、被害が深刻化してきている。

このため、地区住民による集落環境調査を実施し、既存侵入防止柵の補修・嵩上げが必要な個所やイノシシ・シカの農地等への侵入経路を確認した。

この調査結果に基づき、既設侵入防止柵の補修・嵩上げや侵入路への箱わな設置、耕作放棄地の草刈等実施した結果、獣害軽減の効果が見え始めた。

2 地区の概要

地 区 名	長門市三隅下豊原・平野地区
主 な 作 物	水稻、大豆、キャベツ、カボチャ、一般野菜、シイタケ
加 害 獣 種	イノシシ、シカ、サル
対策実施年度	令和3年度



3 被害の状況と課題

イノシシやシカによる農作物への被害や畦畔等の崩壊等、農作業に支障が出る被害のほか、サルによる一部食害等も見受けられるため、捕獲活動の継続と既設侵入防止柵の補修や嵩上げなど集落ぐるみの対応を行う必要がある。

4 取組内容

(1) 集落環境調査の実施

地区内の被害状況の確認や、既存侵入防止柵の点検、鳥獣被害の分布状況や侵入ルート等の調査を行った。



既設侵入防止柵の点検



侵入ルートの確認調査

(2) 鳥獣被害対策研修への参加

県主催の研修会に 12 名が参加し、知識を習得した。



鳥獣被害対策研修会への参加

(3) 調査結果に基づく対策の実施

既存侵入防止柵の補修等をはじめ地元猟友会と連携し、イノシシ、シカの捕獲用箱わなの設置や地区住民による見回りと草刈りを実施。



侵入防止柵の補修



地区住民による見回り

5 取組の成果

イノシシ、シカともに侵入や出没の痕跡もなく効果が表れている。 (千円)

被害額	令和2年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実施前	実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	90	70	▲20				
シカ	900	700	▲200				
サル	9	7	▲2				

6 地区代表者のコメント

集落環境調査や柵の修繕・嵩上げにより集落内の鳥獣被害防止意識が高まった。柵の修繕・嵩上げ後からイノシシ、シカの出没が減少した。引き続き、集落全体で鳥獣被害対策に取り組んでいく。

7 今後の取組

当地区では、既設侵入防止柵の補修・嵩上げ等により、イノシシ、シカ被害の軽減を図ることができた。他の地区においても、集落環境調査により状況を詳細に把握し、効率的な施設整備に繋げて被害軽減の対策を講じていきたい。